

2024 年度第 1 回出版委員会議事次第

日時:2024 年 7 月 20 日(土) 午前 10 時 00 分から

出席委員: 坂内、高橋、小嶋、高田、永井、日比野、小松崎、中村

報告事項:

1. 会誌編集委員会報告(小松崎): 出 1

小松崎氏より、以下の報告がなされた。

- 64-4、64-5の出版状況
- 「新わたくしが影響を受けた論文」企画の概要説明。執筆者の推薦の依頼がなされた。
- IUPAB2024座談会の開催報告
- IUPAB 京都国際会議に関連した企画について
- IUPAB元会長 永山氏がIUPAB概要について寄稿予定である。1978 年の資料(紙媒体)も発掘されているらしく、それを引用しながら、同じく初期 IUPAB をご存知の片岡幹雄先生との共著を予定。
- テーマを絞った特集号企画
- 1, アクティブマター(角五副編集委員長) 2, 合成生物学(中村編集委員)を予定。
- 現在特集号についての内規が制定されていないため、内規案を作成のうえ進める。
- 生物物理に IUPAB2024 の記事を掲載することが提案された。
- 運営ノウハウを残す趣旨で、邦文で記すことに意義がある。ハンズオン企画、国際会議を日本で開催するメリット、デメリット、注意点についての記載についてもお願いしたい。

2. Biophysics and Physicobiology 編集委員会報告(中村): 出 2

- BPPB の発刊状況
- Special Issue: 大沢流手づくり統計力学の英訳全 8 章公開(8 章と Appendix を 2024 年 5 月 27 日に公開)
- Special Issue: Singularity Biology and Beyond 18 編:2024 年 5 月 29 日公開
- Special Issue: Hands-on Training program (Editorial, Commentary & Perspective を入稿予定(後述), 内 BSJ-2024022, BSJ-2024023 入稿済み)
- BPPB の 2023 年 Journal Impact Factor について
- 前年より 0.1 上昇し、1.6 となった。
- 11'th BPPB Editors' Choice Award の決定

- IUPAB2024 Special Issue について
 - ・ 出版費用は、通常の Editorial 費用+ additional 8,000 円 for Abstract.
 - ・ 日本語版と同時に公開を予定している。
- IUPAB2024 での配布用フライヤー、ポスター作成について
 - ・ フライヤー (A4 両面カラー) 1,700 部を作成し IUPAB2024 の Congress bag に封入した。また 100 部を別に作成して BSJ のブースで配布した。
 - ・ ポスター (A2 片面カラー) 10 部を作成し、会場で使用した。
- BPPB Vol. 18 Special Issue: “The Oosawa Lectures on DIY Statistical Mechanics” 冊子体の作成と IUPAB2024 JSPS ブースでの閲覧について。
 - ・ 表紙のみカラー、内容は白黒印刷の冊子体 10 冊を作成し、IUPAB2024 の BSJ ブースに置いて閲覧していただいた。

3. ウェブサイト編集委員会報告 (小嶋) : 出 3

- 学会事務局の末吉氏とプラグイン様により学会サイトの修正が行われた。
- 第3回ウェブサイト編集委員会を開催した。詳細は、議事録 (抜粋) を参照。
- サーバ移管とそれに伴うセキュリティアップデートを現在進めている。
 - ・ 7 月 8 日から修正開始、8 月末に完了予定。順調である。
 - ・ 8 月末ごろに移転完了予定。切替日はその前後で調整予定、作業時に2時間ほどメンテナンス中のため表示できなくなる。メーリングリストは今月後半から移行準備予定。
- サブグループのウェブページの準備
 - ・ 6 月にデータ (サブグループの紹介) 集めが完了、概要とメンバーと日本語英語で作成する。
- BPPB の IF を HP で掲載 (ニュース欄)、top page のバナー表示で対応する。
- IUPAB2024 および韓国年会を控えていることから、英語サイトの充実について今後検討予定。
 - ・ 英語サイトに「問い合わせ」項目がないため、プラグイン様に作成依頼。

審議事項:

4. Biophysics and Physicobiology 編集委員会議題 (中村) : 出 4

- 編集室における生成 AI の購入と利用について。

中村氏より、編集室における生成 AI の購入と利用について、審議の依頼がなされた。

- 現在、BPPB 編集において、英訳作業が発生している。また、英文修正が必要な記事に関して、英文校閲の外注をして、著者に修正依頼をしてきた。今後を見据えた持続可能な英文校閲システムが必要である。

⇒ ● 審議の結果、理事会・出版委員会で承認された。

5. 第 13 回 BPPB 論文賞 受賞論文について(中村): 出 5

中村氏より、以下の報告および審議の依頼がなされた。

● 第 13 回 Biophysics and Physicobiology 論文賞審査について。

- 【受賞論文】Keiichi Kojima, Hiroshi C. Watanabe, Satoko Doi, Natsuki Miyoshi, Misaki Kato, Hiroshi Ishikita and Yuki Sudo. Mutational analysis of the conserved carboxylates of anion channelrhodopsin-2 (ACR2) expressed in *Escherichia coli* and their roles in anion transport. BPPB vol. 15, pp. 179–188 (2018)。

⇒ ● 審議の結果、理事会・出版委員会で承認された。

6. 会誌編集委員についての審議(小松崎): 出 6

小松崎氏より、以下の審議の依頼がなされた。

- ・生物物理の編集委員欠員に伴い、1–2 名補充したい。
- ・古谷氏(名工大)、倭氏(名大)に着任依頼をすることとなった。

⇒ ● 審議の結果、理事会・出版委員会で承認された。

7. 教科書出版の支援事業について(高橋): 出 7

高橋氏より、以下について説明および審議の依頼がなされた。

●教科書出版の支援事業の詳細が説明された。

⇒ ● 引き続き議論を行う旨、確認された。

2024 年度第 1 回男女共同参画・若手支援委員会議事次第

日時:2024 年 7 月 20 日(土) 午前 11 時 15 分から

出席委員: 西坂、高橋、秋山、片山、小島清嗣、小島慧一、須藤、茶谷、中根、藤原

審議および報告事項

I. IUPAB2024 報告

1) 若手奨励賞報告(西坂・秋山): 男女 1-1

西坂氏より、以下の報告がなされた。

●生物物理学会 若手奨励賞選考について。

・応募者数 56 名。5 名 (https://www.biophys.jp/ann/ann01_02.html) が受賞した。

2) 生物物理若手の会 IUPAB2024 前夜祭の報告(片山・西坂)

片山氏より、IUPAB2024 前夜祭の報告がなされた。

●実施報告

・4 名の海外からの招待講演、グループディスカッション、懇親会、ポスター発表。

・前夜祭は初めての開催であり、運営は手探りであったが、大盛況に終わった。

・今後の継続などについては議論の必要がある。

●改善方針の議論(会場について)

・若手の会より以下の提案があった。年会と連携して若手の会イベントを開催する場合、年会会場を半日使わせていただきたい。今回は会場準備のため、京産大の横山先生にご協力いただいた。

・2025 年 奈良年会では、サブグループ「生物物理 若手の会」として会場利用可能である。

●問題点と改善方針の議論(協賛について)

・年会と連動して前夜祭イベントを行う場合、若手の会夏の学校の直後となるが、問題とされないか?

・実質的な問題は、開催コスト(場所、お金)である。前夜祭イベントの継続には、理事会若手支援担当によるサポートが必要なのでは? 引き続き、議論する。

3) BP セミナー(男女共同参画)報告(高橋): 男女 1-3

高橋氏により、以下の報告がなされた。

●IUPAB2024 6/25 男女共同参画主催の BP セミナーの実施報告。

1. Chairs: Satoshi Takahashi (Tohoku University), Seiji Kojima (Nagoya University), Ikuko Fujiwara (Nagaoka University of Technology)
2. Speakers: Elizabeth Hinde (University of Melbourne), Yoshie Harada (Osaka University), Heeyoun Bunch (Kyungpook National University)
3. Sponsor: Nakatani foundation
4. 内容:講演者によるライブイベントを踏まえた体験談、人生折れ線グラフの紹介、グループディスカッション
非常に有意義な会であった。

●問題点と改善方針の議論(受付業務、その他)

- ・受付・お弁当配布係がいなくて困った。AE 企画様と事前打ち合わせするとよい(西坂氏、片山氏)。
- ・IUPAB2024 では中谷財団に様々な形で助成いただいた。理事に加えるなどの可能性を提案する。引き続き議論することとする。

4)キャリア支援説明会 報告(中根):男女 1-4

中根氏により、PB セミナーキャリアサポートセミナーについて報告がなされた。

2.夏の学校準備状況(片山)

片山氏により、生物物理 若手の会 夏の学校準備状況が報告された。

●進捗状況

- ・参加者約 150 人、予算案 1000 万円規模。
- ・企画は、異分野融合セミナー、パネルディスカッションなど。

●議論

- ・若手の会の活動は分野のすそ野を広げる活動である。参加者 150 名の会議の運営は大変かと思う。学会からのサポートも検討が必要であろう。

3. 女子中高生夏の学校準備状況報告(藤原):男女 3

藤原氏により、女子中高生の夏の学校の参加準備状況の報告と審議の依頼がなされた。

●準備状況

- ・女子中高生の夏の学校「研究者・技術者と話そう」に参加予定。
- ・藤原氏と若手の会 メンバー3名(神戸大、森垣研:藤井さん(牛乳+洗剤のコロイド実験を検討中)、ヒューレットパカート:小川さん、東大:千葉さん)が参加を予定している。

●審議依頼

- ・ポスター代、旅費(4名)などの支出をお認めいただきたい。

⇒ ●理事会・男女共同参画・若手支援委員会で承認された。

4. 生科連 第 29 回定例会議報告(西坂)

西坂氏より、以下の報告がなされた。

●生科連 第 29 回定例会議の事業、会計報告について。

5. その他

2024 年度第 1 回 (一社) 日本生物物理学会理事会議事次第

日時: 2024 年 7 月 20 日 (土) 13:00~16:30

場所: 東北大学 (オンライン開催)

出席者: 理事総数 20 名 出席理事 17 名 (代表理事を含む)

代表理事(会長)	高橋 聡	理事(副会長)	坂内 博子
理事(副会長)	西坂 崇之	理事	相沢 智康
理事	秋山 修志	理事	片山 耕大
理事	小島 清嗣	理事	小島 慧一
理事	小嶋 誠司	理事	須藤 雄気
理事	高田 彰二	理事	茶谷 絵里
理事	中根 大介	理事	永井 健治
理事	朴 三用	理事	日比野 佳代
理事	藤原 郁子		

監事: 監事総数 2 名 出席監事 1 名

監事 諏訪 牧子

オブザーバー:

邦文誌編集委員長	小松崎 民樹
欧文誌編集委員長	中村 春木
ウェブサイト編集委員長	小嶋 誠司(兼任)
2024 年度年会委員長	野地 博行
2024 年度年会委員	田端 和仁
2025 年度年会委員長	高田 彰二(兼任)
2026 年度年会委員長	朴 三用(兼任)
関東支部長	池口 雅道
中部支部長	古谷 祐詞
中国・四国支部長	富永 貴志
選挙管理委員長	石島 秋彦

陪席者:

学会事務局 末吉 建太

議長: 代表理事(会長) 高橋 聡

議事録作成者: 日比野 佳代

2024 年度第 1 回 (一社) 日本生物物理学会理事会議事次第

日時: 2024 年 7 月 20 日 (土) 13:00~17:00

場所: 東北大学 (オンライン開催)

報告事項:

1. 定時社員総会の報告 (高橋): 報 1
 2. 2025・26 年度会長候補者意向聴取選挙・代議員選挙結果報告 (石島): 報 2
 3. 地区報告
 - 中国四国支部 (冨永): 報 3-1
 - 中部支部 (古谷): 報 3-2
 - 北海道支部 (相沢)
 4. 2025 年度年会準備状況 (高田): 報 4
 5. 2026 年度年会準備状況 (朴): 報 5
 6. 2024 年度年会報告 (野地・田端): 報 6
 7. 企業支援 WG 活動報告 (IUPAB2024 報告) (小島清嗣): 報 7
 8. 国際関連委員会報告 (西坂・藤原・中根): 報 8
 9. 会員除籍と会員数の報告 (片山): 報 9
 10. 賞・助成金推薦委員会報告 (坂内): 報 10
- その他

IUPAB 関連

審議事項:

1. 支部会関係について (高橋): 議 1
 2. 功労会員の推薦について (高橋): 議 2
- その他

定足数の確認:

理事会の審議に先立ち、議長・高橋 聡氏より定足数の報告があった。

理事総数 20 うち、出席者 17 により過半数を超えた。

報告事項:

1. 定時社員総会の報告 (高橋): 報 1

高橋氏により、以下の報告がなされた。

● 定時社員総会の報告

- ・総会にて決議事項 1~2 が承認された。
- ・2024 年度事業計画と予算案が報告された。

2. 2025・26 年度会長候補者意向聴取選挙・代議員選挙結果報告 (石島): 報 2

石島氏により、以下の報告がなされた。

- 2025, 26 年度会長候補意向聴取選挙、および、2025, 26 年度代議員選挙結果の報告。
- ・次期会長候補は永井健治氏（大阪大学）。
- ・代議員 54 名が選出された。

3. 地区報告

中国四国支部（富永）：報 3-1

富永氏により、以下の報告がなされた。

- 中国四国支部大会 開催の報告
- ・発表賞、最優秀発表賞の選考について。
- ・会計報告
- ・2025 年度は香川県で富永氏のもと支部大会を開催予定。

中部支部（古谷）：報 3-2

古谷氏により、以下の報告がなされた。

- 中部支部大会について
- ・第 55 回中化連秋季大会と共催で支部大会を開催予定である。
- ・実行委員長は神取先生、名工大、2024 年 11 月 2 日（土）、3 日（日）を予定している。

北海道支部（相沢）

相沢氏により、北海道支部活動の報告がなされた。

4. 2025 年度年会準備状況（高田）：報 4

高田氏により、以下の報告がなされた。

- 奈良年会準備状況
- ・会場である「奈良コンベンションセンター」の概要説明。
- ・講演会、ポスター、懇親会を同一会場で開催可能。
- ・これまでに現地調査打ち合わせ 2 回目を終えた。

- 会場について
- ・ポスター会場の配置案が提示された。
- ・ポスター数 244 演題、増設可。

- 協賛について

- 今後の予定
- ・プログラム概要
- ・コンベンションセンターとの契約
- ・予算案作成
- ・ウェブサイト作成など

5. 2026 年度年会準備状況(朴):報 5

朴氏により、以下の報告がなされた。

●2026 年度年会の概要

- ・開催日程は 2026 年 11 月 23 日-27 日(23日は準備日)。
- ・会場として Busan BEXCO 国際会議場の仮予約を行った。
- ・参加人数は日本 1200 人+韓国 500 人(連合学会)と想定。
- ・高橋会長と物理学会韓国代表が面会、韓国連合学会(5 団体)と日本生物物理学会で共催する。

●運営方針について

- ・韓国では5団体連合大会が2年おきに開催されている。それを2か月前倒し、日本の年会と合同で行う運びとしたい。
- ・理事会の承認を経て、コントラクトを結ぶ必要がある。
- ・5団体の会長と3回打ち合わせ、口頭で同意いただいた。プサンからの支援プログラム、バイオベンチャーからの支援を予定している。

●海外で年会を行う意義について

- ・500名の韓国研究者との交流は魅力的である。2027年度日本での年会において韓国研究者と交流できれば意義深い。共同研究や若手間の交流も期待される。
- ・生物物理誌巻頭言で、意見を。

●会場について

- ・Busan BEXCO 国際会議場は、北海道、中部、関西、から九州までダイレクトフライト 84 便がある。九州からは 1 時間 20 分でアクセス可。
- ・韓国 2 番目の町、1500-1700人収容可能な会議場、ホテルは約4万人のキャパシティーがある。

●若手の会企画について

- ・韓国の連合学会は若手中心で活気がある。前夜祭的若手イベントの提案をすれば実現可能であると思われる。

●韓国でのアクティビティーについて

- ・エクスカージョンがあるとよい。国際グループで企画することを検討する。

●お願い

- ・展示会、機材持ち込み手続きを一括でしていただけると助かる。

6. 2024 年度年会報告(野地・田端):報 6

野地氏により、以下の報告がなされた。

●IUPAB2024、2024 年度年会の開催報告

・会計報告は次回理事会にて報告する。

●概要

・参加者は 1918 人(想定 1500 人)。男女比約 3:1。

・53 か国から参加。日本 1225 人、中国 83 名、韓国 65 名、北朝鮮 2 名、アメリカ 56 名、オーストラリア 23 名、ドイツ 34 名、イギリス 24 名他。

・プログラム参加者人数、セレモニー約 500 名、講演 620 名、口頭発表 216 名(日本:海外=81:135)、ポスター発表、BP セミナー、ハンズオントレーニング、懇親会などについて。

●運営の記録について

・小松崎氏:40-50 年後の若手に経験を伝える必要がある。邦文誌「生物物理」として、IUPAB2024 の所感、座談会企画の紹介、IUPAB 元会長永山氏の回顧録などを予定している。

・若手の会、賞選考担当の相沢氏、若手支援担当の片山氏、小島慧一氏などにも書いていただきたい。

7. 企業支援 WG 活動報告 (IUPAB2024 報告) (小島清嗣):報 7

小島清嗣氏により、以下の報告がなされた。

●企業との意見交換会について

●課題

・展示会場とポスターのアレンジメント

・フードロス問題対応

・展示会場からミニセミナー、BP セミナーの併設などコンビネーションがあるとよい。

●今後の企業協賛について

・IUPAB2024は国際会議であったが、国内からの協賛(初出展の企業様も含め)が多かった。今後につなげたい。

・エージェント選択が重要である。朴氏によれば、候補エージェントは 5 社。実績があり、日本にブランチがある会社で、通関の代行対応やこれまでの問題点を踏まえ、慎重な選択をお願いしたい。

8. 国際関連委員会報告 (西坂・藤原・中根):報 8

・西坂氏により、以下の報告がなされた。

●IUPAB 関連の会議の報告

・次回はドイツ ベルリン大会。その次はカナダ ケベック大会が予定されている。

・アジア生物物理連合 (ABA)、Guang Zhu 氏会長、2025 8/9-11, 400 名参加者目標で開催予定である。

・ABA 次期会長に西坂氏が選出される予定。2025 年 ABA への日本からの参加をお願いしたい。

●ジョイントシンポジウムの報告

・豪：ウーロンゴン Dec2023、インド：進展なし、台湾：中根氏担当、中国：進展なし、アジア I 分子：野地氏担当 11 月 8-10 日プサンで開催予定。アメリカ：林久美子氏担当 名古屋大会 Nov2023。

9. 会員除籍と会員数の報告(片山)：報 9

片山氏、朴氏より、以下の報告がなされた。

●会員数について

・除籍処理について。計 102 件(正会員 31 件、学生会員 64 件、海外学生会員 3 件他)の除籍を行った。

・会員数 258 名増、3030 人(学生会員が増えている)。

10. 賞・助成金推薦委員会報告(坂内)：報 10

坂内氏により、以下の報告がなされた。

●賞推薦について。

・学会から報 10 資料の通り推薦を行っている。積極的な応募および背中をおすような活動をお願いしたい。

審議事項：

1. 支部会について(高橋)：議 1

高橋氏より、以下の報告と審議の依頼がなされた。

●各支部会長、高橋氏、末吉氏などを交えての話し合いの結果、以下 2 点をお願いしたい。

・学会として、支部会活動をこれまで通り支持すること。

・関西支部会の立ち上げをお認めすること。

⇒ ●理事会で承認された。

2. 功労会員の推薦について(高橋)：議 2

高橋氏により、以下の審議の依頼がなされた。

●功労会員について。

・功労会員の資格は、実行委員長経験者と通算 20 年以上の会員歴。

・現在、功労会員認定作業を進めている。認定は、来年の奈良年会までに行う。

・了承されたあかつきには、奈良年会で認定書をお渡し、次年度から功労会員とする。

⇒ ●理事会で承認された。

3. その他

●次期会長候補永井氏の就任前あいさつがあった。

●田端氏より、会長室預かりの資料(10箱段ボール)について報告がなされた。

連絡事項:

1. 次回理事会日程について

2024年度第2回理事会(高橋)

日時:2024年9・10月場所:(TV会議)

2024-2 理事会と合わせ、2024年度第2回男女共同参画・若手支援委員会/2024年度第2回出版委員会も開催いたします。

*2024年度臨時社員総会は11・12月予定(オンライン開催)

その他の発議を求めたところ、格別なしと認められたので、議長は16:30に閉会を宣言して散会した。

上記の議決を明確にするため、定款第六章第三十三条の規定によりこの議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名押印する。

2024年7月20日

一般社団法人 日本生物物理学会 2024年度第1回理事会

代表理事 高橋 聡 (印)

監事 諏訪 牧子 (印)